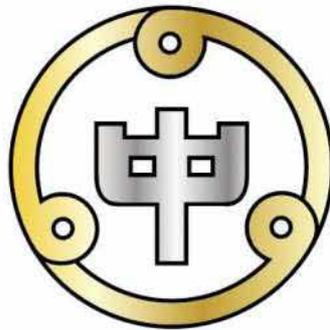


令和7年度

運営に関する計画



大阪市立喜連中学校

令和7年4月

1	学校運営の中期目標	P. 01	管理職
2	中期目標の達成に向けた年度目標	P. 02	管理職
3	本年度の自己評価結果の総括	P. 03	管理職
4	目標別シート		
	○総体	P. 04～P. 09	管理職
	○教科・領域		
	国語科	P. 10	教科主任
	社会科	P. 11	教科主任
	数学科	P. 12	教科主任
	理科	P. 13	教科主任
	音楽科	P. 14	教科主任
	美術科	P. 15	教科主任
	保健体育科	P. 16	教科主任
	技術・家庭科	P. 17	教科主任
	英語科	P. 18	教科主任
	道徳	P. 19	人権教育委員長
	1年	P. 20	学年主任
	2年	P. 21	学年主任
	3年	P. 22	学年主任
	道徳心・社会性の育成	P. 23	生活指導部
	生徒会活動・部活動	P. 24	生徒会担当者
	学級活動	P. 25	生活指導部
	進路指導	P. 26	進路指導主事
	特別支援教育	P. 27	特別支援教育委員長
	保健管理と指導	P. 28	健康教育部
	研修の重点	P. 29	教務部
5	校務分掌表	P. 30	

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校では部活動の活性化と生徒の自主的活動を中心とした規範意識の向上を目指し、学校を中心として保護者・地域・PTAの協力のもと取り組みを進めてきている。その結果、現在では安定した学校活動が行われている。今後はこの状態をもとにして表面に表れにくい「いじめ」や遅刻・不登校の問題に力を入れていきたい。また、学力面においても、従来より取り組んでいる学力向上対策をさらに推進し、たしかな学力の育成を目指さなければならないが、「**人間尊重の精神を基盤にした教育**」を見失わないように最大の努力をしなければならない。これらの課題をクリアするためには、家庭、地域さらには小学校や関係諸機関とのより密接な連携・協力が不可欠である。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

- ・令和7年度末の生徒アンケートにおける「学校へ行くのが楽しい」の項目について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を85%以上にする。
- ・令和7年度末の生徒アンケートにおける「先生は、私たちの話を聞いてくれる」の項目について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を80%以上にする。
- ・令和7年度末の保護者アンケートにおける「学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる」の項目について「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」割合を80%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・令和7年度末の生徒アンケートにおける「学校の授業はわかりやすい」の項目について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を85%以上にする。
- ・令和7年度末の生徒アンケートにおける「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を70%以上にする。
- ・令和7年度末の生徒アンケートにおける「文化発表会や体育大会、宿泊行事は楽しみである」の項目について「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を80%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・令和7年度末の生徒アンケートにおける「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」の項目について肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。
- ・教職員の働き方改革に関して、有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を90%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を85%以上にする。
(R6年度…1年87%、2年87%、3年86%)
- ・年度末の保護者アンケートにおける「学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる」の項目について「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合80%以上を維持する。(R6年度…85%)
- ・年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。
- ・年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。
- ・年度末の生徒アンケートにおける「学校の規則を守っていますか」に対して肯定的に回答する生徒の割合を70%以上にする。(R6年度…1年98%、2年97%、3年99%)
- ・年度末の生徒アンケートにおける「先生は、私たちの話を聞いてくれる」の項目について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合80%以上を維持する。
(R6年度…1年94%、2年97%、3年96%)
- ・年度末の生徒アンケートにおける「学校へ行くのが楽しい」の項目について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合85%以上を維持する。
(R6年度…1年87%、2年85%、3年85%)
- ・年度末の生徒アンケートにおける「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。(R6年度…96%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を35%以上にする。(R6年度…1年33%、2年44%、3年は39%)
- ・中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント向上させる。
- ・年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する生徒の割合を60%以上にする。(R6年度…1年45%、2年51%、3年55%)
- ・年度末の生徒アンケートにおける「学校の授業はわかりやすい」の項目について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合85%以上を維持する。
(R6年度…1年96%、2年93%、3年90%)
- ・年度末の生徒アンケートにおける「文化発表会や体育大会、宿泊行事は楽しみである」の項目について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合85%以上を維持する。(R6年度…1年88%、2年91%、3年95%)

【学びを支える教育環境の充実】

- ・授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。
- ・学習者用端末を活用した学習、生徒アンケート等を実施する。
- ・教職員の働き方改革に関して、有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を80%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

【安全・安心な教育の推進】について

【未来を切り拓くための学力・体力の向上】について

【学びを支える教育環境の充実】について

大阪市立喜連中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を85%以上にする。(R6年度…1年87%、2年87%、3年86%) ・年度末の保護者アンケートにおける「学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる」の項目について「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合80%以上を維持する。(R6年度…85%) ・年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。 ・年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。 ・年度末の生徒アンケートにおける「学校の規則を守っていますか」に対して肯定的に回答する生徒の割合を70%以上にする。(R6年度…1年98%、2年97%、3年99%) ・年度末の生徒アンケートにおける「先生は、私たちの話を聞いてくれる」の項目について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合80%以上を維持する。(R6年度…1年94%、2年97%、3年96%) ・年度末の生徒アンケートにおける「学校へ行くのが楽しい」の項目について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合85%以上を維持する。(R6年度…1年87%、2年85%、3年85%) ・年度末の生徒アンケートにおける「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。(R6年度…96%) 	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全で安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校向上支援チーム事業を通じて、落ち着いたある授業支援等を行う。 ・様々な体験活動や講演会を実施し、生徒の多方面への興味や関心を高めることで社会性を育成する。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学期にいじめアンケート調査を実施し、いじめ・不登校の早期発見・早期対応に向けて教職員の連携を密にして取り組む。 ・年度末の保護者アンケートにおける「子どもは、学校へ行くのが楽しいと言っている」の項目について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を85%以上にする。(R6年度…85%) 	

<p>取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あいさつ運動」を推進する。 ・「時間を守り規則正しい生活を心がける」「学校のルールやマナーを守る」の2点について、家庭と連携しながら全教職員で指導する。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の生徒アンケートにおける「あいさつをきちんとしている」の項目について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を85%以上にする。 (R6年度…1年94%、2年88%、3年88%) ・年度末の生徒アンケートにおける「学校の規則を守っていますか」に対して肯定的に回答する生徒の割合を70%以上にする。 (R6年度…1年98%、2年97%、3年99%) ・年度末の保護者アンケートにおける「学校は、社会のルールを守る規範意識や基本的生活習慣が身につくよう指導している」の項目について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合80%以上を維持する。(R6年度…92%) <p>*上記の事柄を全校集会、学年集会、様々な行事において指導・推進する。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規範意識や仲間意識が向上する学校行事を実施する。 ・鑑賞行事を通して、TPOに応じた社会的態度を育成する。 ・生徒一人ひとりが、互いの人権を尊重し合える教育を推進する。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の生徒アンケートにおける「文化発表会や体育大会、宿泊行事は楽しみである」の項目について「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を80%以上にする。 ・年度末の生徒アンケートにおける「相談できる友だちがいる」の項目について「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を80%以上にする。 ・様々な分野からゲストティーチャーを招き、人権感覚を磨く取り組みを実施する。 	

<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>
<p>次年度への改善点</p>

大阪市立喜連中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を35%以上にする。 (R6年度…1年33%、2年44%、3年は39%) 中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント向上させる。 年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する生徒の割合を60%以上にする。(R6年度…1年45%、2年51%、3年55%) 年度末の生徒アンケートにおける「学校の授業はわかりやすい」の項目について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合85%以上を維持する。 (R6年度…1年96%、2年93%、3年90%) 年度末の生徒アンケートにおける「文化発表会や体育大会、宿泊行事は楽しみである」の項目について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合85%以上を維持する。(R6年度…1年88%、2年91%、3年95%) 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学びコーディネーター事業と学校元気アップ事業を効率的に活用し、自学自習の場を確保する。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 放課後や定期テスト前、長期休業期間に学習機会の場を設け、学習に参加する生徒の数を前年度より増加させる。 	
<p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的で深い学びを取り入れた授業をすることを推進する。 基礎基本の定着を図るため、効果的な授業形態を確立する。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 年度末の生徒アンケートにおける「先生はティームティーチングの授業など、教え方を工夫してくれる」の項目について「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を80%以上にする。(R6年度…1年87%、2年85%、3年86%) 年度末の保護者アンケートにおける「学校は、子どもの能力や努力を適正かつ公平に評価している」の項目について「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合80%以上を維持する。(R6年度…1年87%、2年85%、3年86%) 	

取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】

- ・ 体育の授業や部活動において基礎体力の向上を目指す運動を推進する。
- ・ 熱中症等予防講習会等を開き、体調管理を自分で行えるようになるよう推進する。
- ・ 新型コロナウイルス感染症を教訓とし、うがい、手洗い等の励行を推進する。

指標

- ・ 年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する生徒の割合を60%以上にする。（R6年度…1年41%、2年51%、3年55%）
- ・ 年度末の保護者アンケートにおける「学校は、子どもの安全確保や事故防止に努めている」の項目について「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合80%以上を維持する。（R6年度…90%）
- ・ 「食育つうしん」「ほけんだより」を毎月1回発行し、健康に対する関心を高めさせる。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

大阪市立喜連中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。 学習者用端末を活用した学習、生徒アンケート等を実施する。 教職員の働き方改革に関して、有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を80%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DXの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習者用端末など ICT 機器を使用した授業など、時代のニーズに応じたテーマで設定された校内授業を行う。 <p>指標・学習者用端末など ICT 機器を使用した研究授業を行う。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向6 教育DXの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習者用端末など ICT 機器を活用した教育推進のための環境を整備し、昨年度以上に活用する。 <p>指標・デジタル教材を活用した朝学習、学習者用端末を活用した生徒アンケート等を実施する。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> 有給休暇の取得や長時間勤務の抑制など、教職員の働き方改革を具体的に進める。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 教職員の働き方改革に関して、有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を80%以上にする。 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

教科・領域 「 国語科 」

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
令和7年度末の生徒アンケートにおける「授業はわかりやすい」の項目について「よくあてはまる」「大体あてはまる」の割合を85%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策番号5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 学習習慣の確立	
指標 授業の規律を整えるとともに、宿題・授業ノートの各クラスの提出率を85%以上にする	
取組内容②【施策番号5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 視覚的効果を高めた授業づくり	
指標 ICTを活用した授業を毎学期実施する。	
取組内容③【施策番号5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 言語活動の充実	
指標 1学期に2回以上、グループワーク、ペアワーク、スピーチ、聞き取りテストのいずれかを実施し、コミュニケーション能力の向上を図る。また、授業の中で論述形式の問題に取り組む。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後の改善点	

教科・領域 「 社会科 」

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
○令和7年度末の生徒アンケートにおける「授業はわかりやすい」の項目について、「よくあてはまる」と「大体あてはまる」の割合を85%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 学習習慣の確立	
指標 忘れ物や宿題のチェックを毎時間行う。課題の提出率85%以上をめざす。	
取組内容②【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 基礎的事項の定着	
指標 宿題や小テストを通じて反復学習につとめ、定期テストや小テストでの達成率70%以上をめざす。	
取組内容③【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 自ら考え判断する力の育成	
指標 調べ学習形式の課題を出し、様々な事象を多面的・多角的にとらえ、思考・判断する力を育成する。 また、定期テストや小テストにおいて、論述形式の問題を出題する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

教科・領域 「 数学科 」

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
令和7年度末の生徒アンケートにおける「授業はわかりやすい」の項目について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を85%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策番号5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 授業の規律をしっかりと守らせ、提出物を期日通りに提出できる生徒を増やす。 ----- 指標 課題の提出率80%以上を目指す。	
取組内容②【施策番号 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 定期テストなどを基に生徒の学習達成状況を把握・確認させ、基礎学力の充実に活かさせる。 ----- 指標 年2回の生徒アンケートの2人が担当している授業についての項目で、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を80%以上にする。	
取組内容③【施策番号 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 学習した事柄を基にして、数や図形、関数の性質を見つけ出す力の育成に努めさせる。 ----- 指標 数や図形、関数の性質を見つけだす手がかりとしてICT機器やプロジェクターを利用する	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後の改善点	

教科・領域 「 理科 」

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
令和7年度末の生徒アンケートにおける「授業はわかりやすい」の項目について「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を80%にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策番号5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 授業の規律をしっかりと守らせ、提出物を期日通りに提出できる生徒を増やす。 ----- 指標 課題の提出率80%以上を目指す。	
取組内容②【施策番号5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 知識の習得だけでなく自然現象を科学的に思考し、表現できるようになる生徒を増やす。 ----- 指標 1単元で1回以上、「実験・観察」または「それを補う授業」を行う。	
取組内容③【施策番号5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 定期テスト、小テストや副教材などにより、基礎学力の定着を図る。 ----- 指標 単元の内容を総括する単元テストを、各単元に1回以上実施する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後の改善点	

教科・領域 「 音楽科 」

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
令和7年度末の生徒アンケートにおける「授業は分かりやすい」の項目について、肯定的な回答の割合を85%以上とする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策番号（4）誰一人取り残さない学力の向上】 学習に取り組む意欲の向上	
指標 毎時間始業時に忘れ物チェックを行い、忘れ物なし率90%以上を目指す。	
取組内容②【施策番号（4）誰一人取り残さない学力の向上】 音楽的な見方・考え方を働かせ、表現及び鑑賞の活動を通して音楽を愛好する心情を育てる	
指標 表現活動に対して意欲的に工夫しようとする生徒や、鑑賞活動に対してより深く楽曲を理解し、豊かな感性を持って鑑賞する生徒を育てるため、プリントの作成を中心に指導し、その完成度を80%以上とする。	
取組内容③【施策番号（4）誰一人取り残さない学力の向上】 様々な音楽の良さを味わい、鑑賞の能力を高める	
指標 授業においてICT、プロジェクター機器の活用を60%以上にすることで、音楽文化についての理解を深めるなど効果的に活用し、豊かな情操を養う。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後の改善点	

教科・領域 「 **美術科** 」

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
授業アンケートにおける「興味・関心・意欲の向上」について「そう思う」と「だいたいそう思う」の割合を80%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策番号1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】 主体的に学習に取り組む態度 ----- 指標 指標 毎時間、持ち物の確認を行い、持ち物準備率90%以上達成を目指す 導入の部分で授業規律についてプリント等を使って説明する。	
取組内容②【施策番号2 道徳心・社会性の育成】 思考・判断・表現 ----- 指標 アイデアスケッチなどワークシート提出率80%以上達成を目指す。 作品のコンセプトやアイデアスケッチの作り方を具体的に説明する。 プロジェクターを活用し、視覚に訴えたわかりやすい授業を展開する。	
取組内容③【施策番号5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 知識・技能 ----- 指標 全学年テストの平均点50点以上達成を目指す。 著名な作家の芸術作品を多く鑑賞する。テスト対策プリントを配布し学習に意欲をもたせる。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後の改善点	

教科・領域 「 保健体育科 」

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
○令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、体力合計点を大阪府平均点以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策番号7 健康や体力を保持増進する力の育成】 〈基礎体力を向上させる〉 年度当初、男女別や共習での集団育成を重点的に行い、授業規律の確立、授業への意識を向上を図る中で授業効率を高め、運動量の確保に取り組む。</p> <p>指標 令和7年度に校内で実施をする体力テストにおいて、大阪府の平均値より2つ以上、上回れるようにする。</p>	
<p>取組内容②【施策番号7 健康や体力を保持増進する力の育成】 〈運動技能を向上させる〉 教科書やワークシートで知識の理解を深め、一人一台端末を用いて、視覚的にもわかりやすい授業展開を図る。</p> <p>指標 各種目に応じた目標や記録の平均を明確に伝え、自己の目標・記録を向上させる。</p>	
<p>取組内容③【施策番号7 健康や体力を保持増進する力の育成】 〈運動に親しむ習慣を育てる〉 各学年に応じた学習内容で運動に興味を持たせる。</p> <p>指標 運動習慣調査の「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の質問において「好き」「やや好き」と答える生徒の割合が男女ともに75%以上を目指す。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

教科・領域 「 技術家庭科 」

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
○令和7年度末の生徒アンケートにおける「授業はわかりやすい」の項目について、「よくあてはまる」と「大体あてはまる」の割合を85%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策番号5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>指標 毎回の授業の最低限の課題をきちんと書いているノートなどの提出率を出し、全学年とも80%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【施策番号5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 思考・判断・表現</p> <p>指標 実習を通して、自ら考える力と生きる力を身につけさせる。ICT活用を取り入れた授業を展開することで、学習内容に興味をもたせ、考える力の育成を図る。ワークシートの記述内容で評価していく。</p>	
<p>取組内容③【施策番号5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 知識・技能</p> <p>指標 実習教材を精選し、ものづくりに興味をもたせる。実習後にアンケートを実施し『実習が楽しかった』『またものづくりをしたいと思う』という項目で、ABCDE評価のB以上で80%を目指し取り組む。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後の改善点	

教科・領域 「 英語科 」

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
令和7年度末の生徒アンケートにおける「授業はわかりやすい」の項目について「よくあてはまる」「大体あてはまる」の割合を85%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策番号5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取り組み】 基礎的な学力の定着	
指標 定期的に課題を出して、家庭学習を促す。授業で单元ごとの確認プリントや小テスト、リスニング問題を行うことで基礎学力の定着に努める。	
取組内容②【施策番号5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取り組み】 授業に意欲的に取り組み、授業準備や課題提出をきちんと行うなど、基本的な学習習慣を有する生徒を増やす。	
指標 忘れ物や提出のチェックを行い、課題の提出率85%以上を目指す。	
取組内容③【施策番号5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取り組み】 C-NET とともに基礎的、実践的なコミュニケーション活動を行う。	
指標 C-NET と協力し ICT を効果的に活用し、单元ごとにコミュニケーション活動を行うことで、4技能（読む・書く・聞く・話す）を向上させ、基礎的、実践的なコミュニケーション能力の素地を養う。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後の改善点	

教科・領域 「 道徳科 」

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
○道徳の授業、人権教育の授業及び活動を通じて、自己と他者の違いを認識したり尊重したりして、互いに認め合う心を育成する。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策番号施策2 道徳心・社会性の育成】 特別の教科『道徳』において、各学年の指針と計画を立て、学校全体で道徳の授業の発展に努める。</p> <p>-----</p> <p>指標 特別の教科『道徳』において、各学年の指針と計画を立て、学校全体で道徳の授業の発展に努める。</p>	
<p>取組内容②【施策番号施策2 道徳心・社会性の育成】 2年生で平和学習の実践として戦争の歴史などを振り返り、平和学習の取り組みを実施し、戦争の悲惨さと平和の尊さを学ぶ。</p> <p>-----</p> <p>指標 戦争や平和について講義を行う、映像を見る、また道徳の授業の中で、読み物教材などに関連づけて平和学習を取り入れていく。</p>	
<p>取組内容③【施策番号施策2 道徳心・社会性の育成】 1年生で障がいのある人々のことを理解し、共に生きる社会の実現について考える。</p> <p>-----</p> <p>指標 1年生で障がい者に対する学習を行い、また道徳の授業などに関連付けたり、視聴覚資料を観たりすることで障がい者への理解を深めていく。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後の改善点	

教科・領域 「 1年 」

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
全教育活動を通じて子どもたちの主体性を高めリーダーを育成する。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策番号1】 安全で安心できる学校、教育環境の実現	
指標 生徒アンケートの「学校へ行くのが、楽しい。」の「当てはまる」を50%以上にする。	
取組内容②【施策番号2】 道徳心・社会性の育成	
指標 生活アンケート「生徒会や委員会活動・学級の係活動に積極的に参加している」の「当てはまる」を70%以上にする	
取組内容③【施策番号6】 国際社会において生き抜く力の育成	
指標 「文化祭や体育大会、宿泊行事は楽しみである。」 「当てはまる」を80%以上にする	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後の改善点	

」

教科・領域 「 2年 」

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
全教育活動を通じて子どもたちの主体性を高めリーダーを育成する。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策番号】 安全で安心できる学校、教育環境の実現	
指標 「学校へ行くのが、楽しい。」 肯定的回答割合 60%以上目指す。	
取組内容②【施策番号】 道徳心・社会性の育成	
指標 「生徒会や委員会活動・学級の係活動に積極的に参加している。」 肯定的回答割合 60%以上目指す。	
取組内容③【施策番号】 国際社会において生き抜く力の育成	
指標 「文化発表会や体育大会、校外学習などの行事は楽しみである。」 肯定的回答割合 70%以上目指す。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後の改善点	

教科・領域 「 3年 」

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
全教育活動を通じて子どもたちの主体性を高めリーダーを育成する。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策番号】 安全で安心できる学校、教育環境の実現	
指標 「学校へ行くのが、楽しい。」 肯定的回答割合 55%以上目指す。	
取組内容②【施策番号】 道徳心・社会性の育成	
指標 「生徒会や委員会活動・学級の係活動に積極的に参加している。」 肯定的回答割合 60%以上目指す。	
取組内容③【施策番号】 国際社会において生き抜く力の育成	
指標 「文化発表会や体育大会、校外学習などの行事は楽しみである。」 肯定的回答割合 75%以上目指す。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後の改善点	

教科・領域 「 道徳心・社会性の育成 」

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>○令和7年度末の校内調査における「学校の決まり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を90%以上にする。</p> <p>○令和7年度末の生徒アンケートにおける「あいさつをきちんとしている」の項目について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた生徒の割合を80%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策番号1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>全教職員があらゆる場面で、いじめは絶対に許されないものであることを指導し、いじめを未然に防ぐように努め、早期発見、対応に協力して取り組んでいく。生徒との信頼関係の構築と維持を図るため、教育相談の機会を設け、綿密な状態把握を行う。</p> <p>-----</p> <p>指標 いじめの未然防止、早期発見、解決に全教職員で協力して取り組む。</p> <p>毎学期ごとのいじめアンケート調査を行い、学校で認知したいじめについて、解消した割合を90%以上にする。教育相談を1年に2回行う。</p>	
<p>取組内容②【施策番号2 道徳心・社会性の育成】</p> <p>風紀違反の減少と規範意識の向上</p> <p>-----</p> <p>指標 風紀点検での違反者を1%以下にする。服装等の違反での指導を減少させる。</p>	
<p>取組内容③【施策番号2 道徳心・社会性の育成】</p> <p>あいさつと遅刻チェック</p> <p>-----</p> <p>指標 予鈴後・本鈴遅刻者の平均をそれぞれ1.5%以下、1%以下にする。</p> <p>挨拶アンケートにおける「あいさつをきちんとしている」の項目について、「できている」と答えた生徒の割合を80%以上にする。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

教科・領域 「 生徒会活動・部活動 」

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
○生徒会・生徒専門委員会の活動を自主的・積極的に取り組む態度を養わせる。 ○部活動を自主的・積極的に取り組む態度を養わせる。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策番号1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】 教員が生徒会の専門委員を分担し、生徒会活動を充実させる。 生徒会アンケートを実施する。	
指標 学期に1回程度行い、生徒会アンケートで学校生活の充実度を調査する。	
取組内容②【施策番号2 道徳心・社会性の育成】 小中交流部活動体験の実施。部活動紹介の実施。部活動集会の実施	
指標 部活動に入部した生徒の継続率を全学年90%以上にする。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

教科・領域 「 学級活動 」

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>○令和7年度末の生徒アンケートにおける「学校行事（文化祭、体育大会、校外学習、泊行事、学年行事）に、しっかり取り組んでいる」の項目について、「よくあてはまる」と「大体あてはまる」の割合を85%以上にする。</p> <p>○個性を尊重し、活発な話し合いができる学級集団作りに努める。</p> <p>○みんなで協力して、学級運営の役割を分担し、責任を持って実行させる。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策番号1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>個人面談、家庭訪問、学年懇談、学級懇談などを定期的実施し、家庭と連携しながらそれぞれの課題に主体的に取り組ませ、自他共に尊重できる姿勢を身につけさせる。</p> <p>指標 暴力行為の件数、暴言による指導件数を昨年度より減少させる。不注意による器物破損等の指導件数も昨年度より減少させる。</p>	
<p>取組内容②【施策番号2 道徳心・社会性の育成】</p> <p>班活動や係活動を通して、集団の一員という自覚と連帯感をもたせて、規律意識を高める。</p> <p>指標 生徒会アンケートや学校評価アンケートで「学校行事に積極的に取り組んだ」の回答の水準を昨年度より上げる。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

教科・領域 「 進路指導 」

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> 各学年でのキャリア教育、進路学習後のアンケートにおいて、肯定的な回答の割合を80%以上にする。 適切な情報提供を通じて、進路選択に向けての不安を解消する。 	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策番号6 国際社会において生き抜く力の育成】</p> <ol style="list-style-type: none"> 「進路の手引き」等の資料を作成し、絶えず変化する制度の中で進路選択に関する情報を適切に生徒・保護者に提供し、適正な進路を考え、進路選択への取り組みを進める。 保護者対象の進路説明会を2回実施し、保護者への進路情報の提供に努める。 <p>指標 時代とともに変革を遂げる入試制度の情報を周知徹底し、進路選択に際しての不安をやわらげる。</p>	
<p>取組内容②【施策番号6 国際社会において生き抜く力の育成】</p> <ol style="list-style-type: none"> 各学年の進路学習を計画的に進めていく。 入試制度についての的確にかつ速やかに情報を周知徹底する。 キャリア教育、職業講話を実施する。 <p>指標 取組後のアンケートでの肯定的な回答を80%以上にする。</p>	
<p>取組内容③【施策番号6 国際社会において生き抜く力の育成】</p> <ol style="list-style-type: none"> 進路指導委員会を円滑に運営する。 精選された資料の提供をする。 <p>指標 合否基準において判定確率を90%以上にする。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後の改善点	

教科・領域 「 特別支援教育 」

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
生徒それぞれの障がいの特性や生活状況を把握し、自立と社会参加を目標とした指導や支援をしていく。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策1 安全で安心できる学校作り】 教職員間の共通理解を深める。	
指標 校内委員会などで教職員間の共通理解を深め、生徒一人ひとりの個性を理解し、安心して過ごせる環境を整える。	
取組内容②【 施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力の向上への取り組み】 一人ひとりの特性に合わせた指導や支援をする。	
指標 各家庭や諸機関との連携をはかる。	
取組内容③【 施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】 基本的な生活習慣の励行	
指標 挨拶や時間を守るなどの生活習慣を身につける。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後の改善点	

教科・領域 「 保健管理と指導 」

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
○生徒が健康で安全な学校生活を過ごすことを目指す。 ○校内美化・環境整備に努める。 ○自分の健康について自己管理のできる生徒の育成に努める。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策番号1. 安心安全な教育環境の実現】 校内の環境整備と美化に努める ----- 指標 清掃用具等、物を大切にする気持ちを育てると共に、美化委員会を中心に、整理整頓・美化意識を定着させる。また、清掃活動を通して落ち着いた環境を作る意識を育てる。	
取組内容②【施策番号1. 安心安全な教育環境の実現】 安全への意識を高め、教育を進める。 ----- 指標 避難訓練を年2回実施し、緊急対応の仕方や安全・命の大切さを意識させ、それを向上させる。また研修等を通して教職員の救命救急のスキルをあげる。	
取組内容③【施策番号5. 健やかな体の育成】 健全な生活習慣を身につけ、健康を維持する力をつける。 ----- 指標 検診前にどのような検診を行うのか意識させる。検診後の健康・保健指導を通して健康面や生活意識を改善・向上させ、治癒率40%以上を目指す。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後の改善点	

教科・領域 「 研修の重点 」

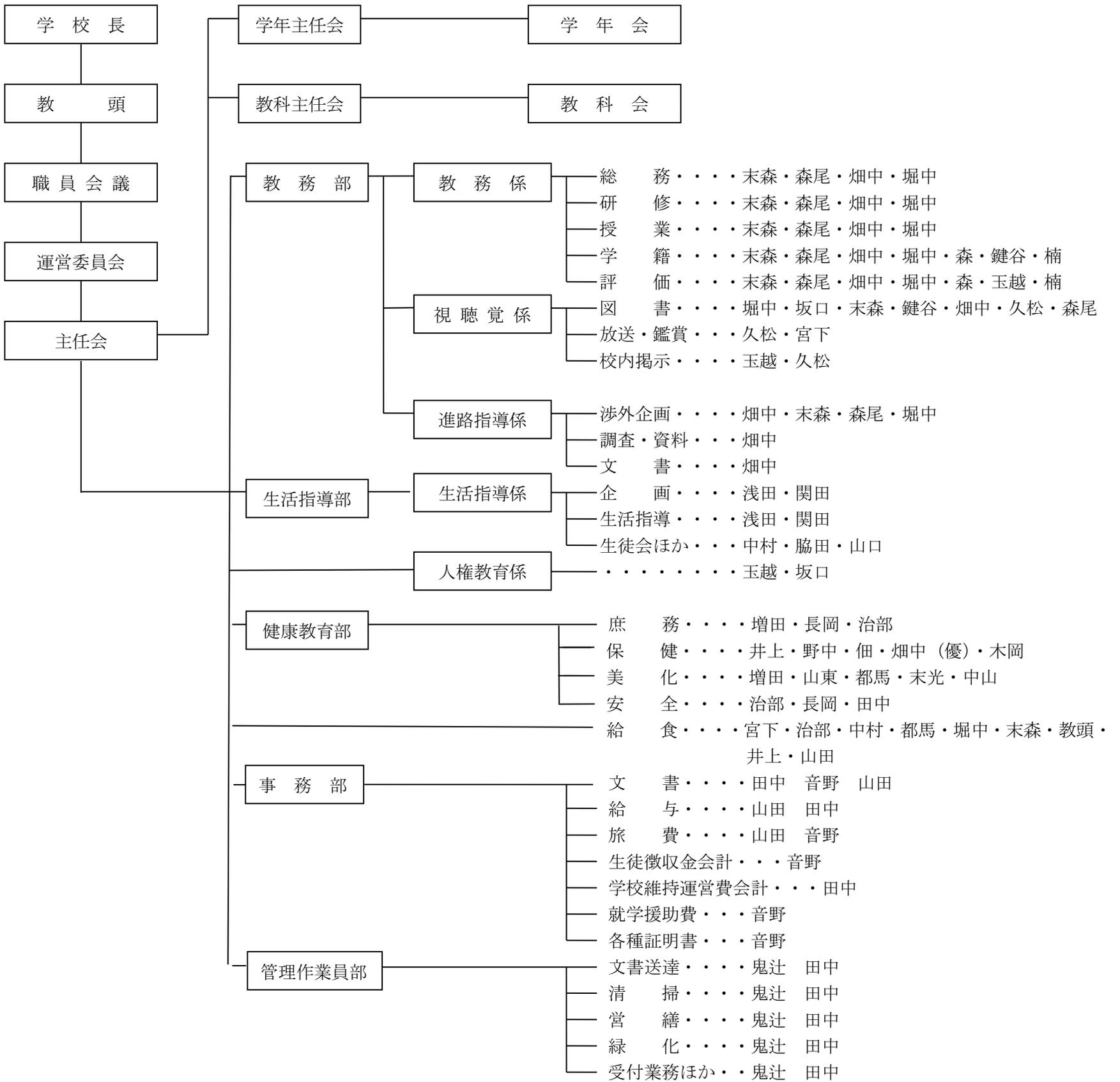
評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
○令和6年度末の生徒アンケートにおける「授業はわかりやすい」の項目について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を85%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【(4) 誰一人取り残さない学力の向上】 各教科において、共同的に学ぶ場面を取り入れた研究授業を実施し、研鑽を積み、授業力の向上に努める。	
指標 全教員が指導案を作成して研究授業を実施する。また、授業参観を行う。	
取組内容②【(4) 誰一人取り残さない学力の向上】 生徒一人ひとりに向けた基礎学力の向上に努める。	
指標 小テストや補習などを通して、各生徒の理解度を確認し、指導の参考とする。	
取組内容③【(4) 誰一人取り残さない学力の向上】 ICT 機器の研修及び活用に努める。	
指標 ICT の使い方を学ぶこと、そして生徒に対して言葉以外に視覚に訴えることで、授業内容を理解させるようにする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

令和7（2025）年度 校務分掌表

大阪市立喜連中学校



○運営委員会（行事検討委員会）（※マスタープラン委員会）
 …校長 教頭 首席 各部長 進路指導主事 各学年主任 生徒指導主事 事務代表 （※管理作業員1名）

○主任会…校長 教頭 首席 生徒指導主事 教務主任 各学年主任

○教育課程検討委員会…校長 教頭 首席 教務主任 各教科主任

○進路指導委員会…校長 教頭 進路指導主事 教務主任 3年教職員 2年生学年主任 1年教職員代表（兼任可）

○性教育委員会…保健主事 養護教員 各学年3名（保健主事が兼任可）

○体育大会実行委員会…体育科（全員）事務1名 各学年3～4名（兼任可）

○文化発表会実行委員会…各学年3～4名 事務1名

○道徳・人権教育委員会…人権主担 各学年3名

○給食委員会…教頭 各学年より2名 養護教員 事務室

○ICT委員会…ICT主担 各学年より2名ずつ 生活指導部より1名

○学力向上委員会…校長 教頭 首席 教務主任 生徒指導主事 各学年主任 習熟度学習コーディネーター

